



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

週報 No. 42

2009.6.10 (No.2549)

第2560地区ガバナー／馬場 信彦
 会 長／中村 和彦
 会長エレクト／菊池 渉 (クラブ奉仕A)
 副 会 長／榎山 仁 (クラブ奉仕B)
 幹 事／石月 良典
 S A A／明田川賢一
 会 計／杉山 幸英

例会日／毎週水曜日12:30～
 例会場及び事務局／
 三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (～はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押ししてください)

■本日の出席会員数:58名中32名
 ■先々週出席率:74.55%

【ビジター】

・米山奨学生
 ケオ・ヴェチエット 君



「夢をかたちに」

2008～2009年度国際ロータリーのテーマ



ネムノキ

会 長 挨拶

中村和彦 会長



参勤交代

江戸時代の参勤交代の制度は徳川幕府が諸大名の勢力を削ぐための財力消費の政策である。表向きは国元を出て江戸で一定期間忠勤に励むという主旨だが、一種の人質である。参勤交代には、西の大名は必ず東海道を通らねばならない。

北陸の大名も特殊な場所は逐一幕府の許可を得、原則として東海道を通ることになっている。

また、朝廷に近寄らせないために、途中で京都に立寄ることは許されなかった。

こんな制約がいろいろあって、大津から江戸まで13日も要している。

行列は大名の禄高によって制限があり、20万石以上では騎上供侍30騎以内、足軽200人以内、他の供侍300人以内となっている。1万石となると、騎上供侍10騎、足軽20人、供侍30人となり、1万石以下では総勢20～30人となる。槍持ちの奴踊りは、宿場に入る前後にやるだけで、常時やってるわけではなく、江戸では全くやらない。

行列の出発は七ツ時(午前4時)で“お江戸日本橋七ツ発ち”という歌詞の由来である。

到着は五ツ時の午後8時で、以降は行動してはならないという制約があった。

最も難儀したのは川越えで、東海道には富士川、大井川など大河川が8つもある。

橋をかけず船も出さなかったのは幕府の政策で、城の外の二重三重の堀と同じ効果を狙ったもの。

殊に大井川は川幅1450m両岸には川越人足が400人ほども常時待機していた。

川越えには殿様は輦れんだいに乗り人足20~30人が担かこぎ一般用の駕籠は人足12~3人、他は板に乗せたり、肩車、手引き、馬越えなどで渡す。

1人での渡河は禁止、必ず人足の手を借りねばならない。

この川越のほかに東海道には16の関所がある。行列の構成と、何月何日どの関所を通るとい報告を出し、関所では全員の面通し（殿様は駕籠のすだれ越し）と荷物の点検が行われた。

幹事報告

石月良典 幹事

◎ロータリー米山記念奨学会より功労クラブ表彰についてご案内が届いております。米山功労クラブとして感謝状を贈呈（26回目）

◎植木ガバナーエレクト事務所より2009~2010年度国際奉仕フォーラム開催のご案内が届いております。

と き 7月16日（木）PM12:00~PM3:30
ところ モーリエ2（柏崎商工会議所5F）
登録料 3,000円

◎植木ガバナーエレクト事務所より「新世代奉仕フォーラム」への参加のご案内が届いております。

と き 7月20日（月・祝日）
ところ 学生総合プラザSTEP（新潟市）

◎本日2009~2010年度ロータリー手帳を配布いたしました。注文された方はお持ちください。

ニコニコBOX

石月良典さん

菊池エレクト、今日はよろしくお願ひします。

五十嵐昭一さん

梅雨に入りそうな天候です。

早く入って、早く抜け出て欲しいです。

菊池 渉さん

各委員長の打ち合わせご苦勞様です。

いよいよ来月始まります。

渡邊喜彦さん

お陰様で市の仕事が決まりました。

よいことがありました。ボックスに協力致します。ご無沙汰して居ります。久しぶりに例会に出席しましたが、早退させていただかねばなりません。よろしくお願ひします。

高橋 司さん

来年度、ニコニコボックス委員長です。よろしくお願ひします。

平原信行さん

信金の旅行で北海道小樽の前年サミットの会場となった洞爺ウインザーホテルに1泊旅行に。斎藤弘文さん、渡辺勝利さん、近藤さんにはお世話になりました。

渡辺 稔さん

8日、次年度週報会員の皆さま、お集まりいただきありがとうございました。よろしくお願ひします。

明田川賢一さん

少し蒸し暑くなってきました。気分良くする為に協力します。

山田富義さん

ボックスに協力します。さいそくがありましたので。

小出子恵出さん

さいそくがありまして。

松永一義さん

よいことがありました。ボックスに協力致します。

中村和彦さん、 浅野金治さん、 若槻八十彦さん、
樺山 仁さん、 金子俊郎さん、 船越正夫さん、
米山智哉さん、 杉山幸英さん、 丸山行彦さん、
ボックスに協力します。

石倉政雄さん、 西川文夫さん、 外山雅也さん、
早退します。

6月10日分 ￥ 24,000

今年度累計 ￥1,113,000

〈クラブフォーラム〉

◎地区協議会報告

「にわに」

菊池 渉 会長エレクト



去る5月23日、柏崎総合体育館と新潟産業大学を会場に2009～2010年度地区協議会が開催されました。その報告をさせていただきます。形式的な挨拶に引き続き基調講演があり、昼食を挟んで各部門に分かれてセッション（会議）、その後、全体の報告、総括、懇親会、そして最後は「手に手」を歌ってという、なかなかハードなスケジュールでした。

参加頂いた何人かのメンバーに感想を述べて頂きますが、総括して私が報告致します。各セッションのアドバイザー、リーダーは手慣れた感じで、決まり切った内容をお上手にお話になられました。

「RIのテーマ」

THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

— ロータリーの未来は、あなたの手のなかに —

「会長強調事項」

- 水対策
- 識字率向上
- 保健および飢餓救済
- 青少年奉仕（危機管理）
- 公共イメージを高める

「会長要望事項」

- 1クラブ少なくとも1人の会員純増
- 80%の会員維持率
- 1地区少なくとも1クラブの創立

「RI長期計画」

- ポリオの撲滅
- 公共イメージを高める
- 奉仕能力の増大を図る
- 会員拡大を図る
- 職業奉仕の強化
- 会員組織の育成
- 長期計画の推進

「地区運営方針」

BACK TO BASICS

「思いやりの心で、友情を深める」

- ロータリーの心と原点を大切に —
- ロータリーの原点に立ち返り、さらなる向上を図る —

スリムな地区組織で運営する
各地域ひいては新潟県に根ざした活動展開をする
ロータリー活動に参加する喜びを知らしめよう

「地区重点目標」

- 会員の退会防止と増強を図る
- ロータリー財団の寄付増進
- 米山奨学会の寄付増進
- サービスを基本として、会員の友情を深める

基調講演

「ロータリーの心と原点；基本に返ろう」

RI 2700地区パスト・ガバナー

廣畑富雄（福岡西RC）

医学博士（九州大学）でハーバード大学の客員教授をも務められた講師（S6生まれ）は、実に静かな口調ながら格調高く、今日のロータリーは危機だとの認識を示されました。

……今世界は金融危機から実体経済の危機に波及し、100年に一度の危機の真只中にあります。この大きな原因は、ご承知のように米国で、プリンシプル（原則）を全く無視した、サブプライムローンをはじめたことにあります。……では、ロータリーのプリンシプルとは一体何でしょうか。なぜロータリーが生まれたのか、ロータリーの理念とは何か、ポール・ハリスが目指したものは何か、アーサー・シェルドンの提唱したサービス（奉仕？）とは何か、1960年代のロータリーの大きな変化とは、戦前の日本のロータリアンは、なぜロータリーに強い魅力と愛着を感じ、戦争中命がけでロータリーの火を守ったのか、そして、日本のロータリーは今後どう進んでいくべきか、……

RIに対しても、お金第一主義になっている、職業奉仕を軽視している、サービスと言う言葉をはき違えている、等々厳しいご意見でした。そして、私は、ロータリーには大変魅力があり、人の心が荒れてきた今の日本に、是非必要なものだと思っています。（単なる社会奉仕の団体ではない）。皆様が、ロータリーの魅力を再発見し、素晴らしいロータリーライフを送られるよう願っています。

とまとめられました。詳しくは講師の著書がありますゆえ、ご一読願います。

◎ロータリー財団委員会

五十嵐昭一 会員



私の委員会は、お金を集めるのが主体のロータリー財団委員会の会議でした。とにかく、どうやって金を集められるかという話ですが、その辺は適当に考えて良いのではないかと考えました。

財団寄付は主体は3つの項目になります。

1. 財団寄付 — 年次寄付、恒久基金、

使途指定寄付について

年次寄付はクラブと地区で目標を設定して1人100ドルを目標として集める。

恒久基金は今すぐ使うのではなく、3年後のプログラムで半分が地区、半分が上の方で使われ、ベネファクターとか特別寄付で多数でなく、当クラブでは退会されましたが山本福七会員が達成されましたが、そうした金を投資に廻して利益で種々な事業をやります。今回のように国際的にマイナスの要素が揃いますと、恐らく恒久基金は使用できないと思っています。貯まったり、積んで置いた資金は崩さないで残っていると見ております。

使途指定寄付はポリオプラスとか、そうした目的で使用するために集める金です。

2. 地区ロータリー財団の寄付金について

(2009—2010年度 植木年度)

1人100ドルが目標です。

3. ポリオプラスとゲイツ財団による補助金について

特別目標を持った目的のの寄金ですが、投資ファンドのビルゲイツ財団が3億5,000万ドルを補助金として寄付したそうで、2008年度には5,700万ドル集めるそうですが、2,000ドル以上を目標として3年やることをビルゲイツ財団と申し合わせしているそうです。ビルゲイツ財団のPRの一端をやっている感じもしますが。

4. ロータリー財団地区補助金申請について

三条南RCに新しい三条高校の植樹の金がロータリー財団から出ているそうですが、そうした社会奉仕的なものがありましたら申請してください。審査に通りますと、そのお金を出しましょうという話がありました。

5. 国際ロータリー第2560地区

2010年—2011年国際親善奨学生募集について

今募集しておりますので、各クラブで該当する対象者がいましたら推薦してもらいたいということでした。

〈クラブ奉仕と会員増強委員会〉

基調講演の感銘について

小出子恵出 会員



福岡ロータリークラブの廣畑パストガバナーの基本に帰ろう、奉仕とサービスの違いについてロータリーは奉仕としておりますが、サービスは相手のことを思いやるとか、相手の立場にたってどうすれば良いのかと考えることが基本なんだ、サービスなんだと言われ、成る程と共感いたしました。

その中でRI会長は1年毎の交替なんですが、会長職も種々な事業を始めますが、1年で終わらないポリオプラスとか、良いことなんですが、そうした事業がいくつも重複して資金が不足します。資金が不足すると会員を増やして金を集めるしかない、無理して会員を集めると質が低下して会員にふさわしくない人間までが会員になり、紙面を賑わし、金儲けに走った漢字検定の人のとか、変な会員が出てくるのではないのでしょうか。

基調講演は最後まで興味深く感銘致しました。

分科会では、クラブ奉仕と会員増強に出席しましたが、会員増強には何かと疑問が頭をかすめました。

〈クラブ奉仕と会員増強委員会

地区協議会に参加して〉

明田川賢一 会員



私は斎藤真澄会員の代役として出席してまいりました。

地区協議会は柏崎市の総合体育館と新潟産業大学で行われました。総合体育館は三条の厚生会館を二周りくらい大きくした感じの体育館で、また、新潟産業大学はそこから移動のバスで5分ほどのところでした。どちらも丘陵地にあり、天気もそこそこ良くて、気持ちのいい環境でした。

参加者は各クラブの会長エレクト、クラブの役員の方々が中心で、私のようなものが参加して話しがわかるのか心配でした。全体としては、ロータリーの考え方、ガバナーの方針などの基本的なことを講演を通して聞くというものでした。

午前は全体会合で植木ガバナーエレクトのRI会長方針、新年度の運営方針のお話し、そして基調講演として廣畑2700地区のバストガバナーのお話しがあり

ました。

廣畑パストガバナーのお話しは、植木ガバナーエレクトの基本方針を支えるかのようなお話しでした。お二人の共通するお話しとして、ロータリーの基本に帰ろうということで、思いやりや、友情、地域に根ざした活動でロータリアンがその活動を楽しみ、活動や職業を通して地域貢献をはたし、友情を深めましょうということや、職業理論のことをお話されていました。特に私は廣畑パストガバナーの“一隅を照らす活動を…”小さな活動を積み重ねるという言葉が印象に残りました。

午後は新潟産業大学に場所を移し、各委員会ごとのセッションがありました。私は新世代奉仕委員会に参加し、お話しを聞いてまいりました。

新世代奉仕委員会は、インターアクト、ローターアクト、ライラの委員会からなり、高田東ロータリークラブの星野さんが委員長を務めていらっしゃいます。お話しは委員長からのお話しが中心となりました。近年はアクトのメンバーが減少し、活動に支障をきたしている。一つの原因としてロータリアンの関心が薄れているためではないかとのこと。ロータリアンがアクトの会員とともにアクトの活動に参加し、次世代の若者と達成感と感動を共有して欲しい。そして、関心を持ち続けてほしいとのことでした。委員会メンバーには進んで参加し、参加して感動する委員会にしてほしいとのことでした。

講評の佐野パストガバナーからは教育の結果は50年後に現れる。若い人たちがアクトの活動を通して感動や達成感を感じて、それらを未来につなげてほしいとのことでした。

最後に、また総合体育館に戻り、全体会議と、総評と、懇親会となりました。そこで、マッチンググラウンドという私にとっては新しい言葉と活動が紹介されました。国際奉仕で補助金を受けてロータリアンが活動するお話しで、インドネシアの地域の学校に浄水器を設置するお話しが紹介されました。面白い取り組みがあると思いました。

私は懇親会には参加しませんでしたので、報告は以上です。ゆっくりすごした休日となりました。

次週例会 6月24日 夜例会 「会長・幹事慰労会」
PM6:30～ 於 二洲楼



次々週例会 7月1日 クラブ・フォーラム

